

令和7年度 子ども音楽大学いるま

1. 実施体制

子ども音楽大学いるま	学長	加藤 徹也（武蔵野音楽大学音楽総合学科長・音楽教育コース長）
	副学長	中田 一平（入間市教育委員会教育長）
子ども音楽大学いるま実行委員会	実行委員長	佛坂 咲千生（武蔵野音楽大学演奏部長）
	実行委員 （関係団体）	武蔵野音楽大学、入間市教育委員会
	問合せ先	入間市教育委員会 社会教育課 電話 04-2964-1111 mail ir815000@city.iruma.lg.jp

2. 事業内容

開催回数	2回	開催期間	令和7年8月30日～令和7年9月20日			
参加者数	11名	内訳	小学4年生	4名		
			小学5年生	4名		
			小学6年生	3名		

3. 実施内容

1 日目	開催日時	8月30日（土）		
		13:00~16:15		
その他 （音楽）	会場	武蔵野音楽大学 入間キャンパス		
	講義名	「メロディーってどうして生まれたの？」 「はじめまして！みんなのパイプオルガン」		
	講師	「メロディーってどうして生まれたの？」 伊東 光介 先生 「はじめまして！みんなのパイプオルガン」 秋本 奈美 先生		
2 日目	開催日時	9月20日（土）		
		13:00~16:15		
その他 （音楽）	会場	武蔵野音楽大学 入間キャンパス		
	講義名	「ハーモニーってどうして生まれたの？」 「はじめまして！みんなのパイプオルガン」		
	講師	「ハーモニーってどうして生まれたの？」 伊東 光介 先生 「はじめまして！みんなのパイプオルガン」 秋本 奈美 先生		

パイプオルガンの説明ビデオを視聴している様子

講義を受けている様子

4. 参加者の声

参加した子供の声 (感想)	<p>体験やコンサートが特に楽しかったです。知ってる曲もいっぱいあって面白かったです。 また来たいと思えるところでした。 さまざまな音楽に関することがわかってよかったです。 長い講義だったけどいろんなことを知れて良かった。 とても知らないことが多くて、全部はおぼえられなかったけど、たくさんの知識が身につけてよかったです。 しらなかった音楽について知れました。 大きなパイプオルガンをはじめ近くで見ました。とても大きくてパイプは何十個もありました。自分よりも大きいパイプもたくさんありました。あと足で踏む鍵盤もいっぱいありました。 毎年違い、年度を楽しめて良かったです。 色々知れて良かったです。</p>
保護者の声 (感想)	<p>小学校では学ぶことのできない貴重な講義を受けることができたようで子どもにとっても大変有意義な経験となったようです。今後も続けてくださると大変ありがたいと思います。(座学の内容を毎年変化させてくださるとより毎年参加させたいと思います) ご関係者の皆さま、誠にありがとうございました。特に、伊東先生のメロディーづくりの時間では、子どもが考えたごくシンプルな楽譜を即興で和音をつけてすばらしい音楽に昇華させてくださったことは、親だけでなく子どもにとっても大変嬉しい記憶に残るものになりました。秋本先生におかれましても、見たことのないパイプオルガンという楽器を身近な楽器に変えてくださったほか、子ども目線に合わせた講義内容、話し方によって大変充実した時間を過ごすことができたようです。 本格的でアカデミックな講義で、子どもにとってとても有意義な時間だったと思います。ですが、ピアノを習っていない子にとっては、話が高度すぎてついていけないところもあったようです。素養があるのが前提なのかもしれませんが、もう少し初心者でも理解できるようにしていただけるともっと楽しめたのではないかと思います。先生の音楽への熱意や愛は伝わってきます。それを感じられただけでも良かったと思いました。 パイプオルガンの生の演奏が聴けたのも非常に良かったです。 貴重な学びの場を設けていただきありがとうございました。子どもにとっては話の内容が難しかったようですが全体的には楽しめたようで良かったです。初めてパイプオルガンの演奏で生で聴いて、数々の音色にとっても引き込まれました。 本人からとても楽しかったと聞きました。音楽についてまとまった時間をとって学ぶ機会はなかなかないので良い経験になったと思います。 パイプオルガンを間近で見たり、触れたりする機会をいただきありがとうございました。音楽の楽しさを感じられる2日間となったようです。</p>